

総合 計画 体系	政策名	V 賑わいあふれる雲南市 《産業・雇用》	施策主管課	産業推進課
			施策統括課長	福島 宏芳
	施策名	31 新産業の創出	関係課	政策推進課, 農林振興課

1. 施策の目的と指標

目的	①対象(誰、何を対象としているのか)		対象指標		単位	区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	A) 市内事業所 B) 市民	A	市内事業所数	事業所	実績 見込	件	実績	2,222	-	-		
見込										2,300	2,300	2,300
B		人口	人	実績 見込	人	実績	42,428	41,917	41,159			
							見込			41,159	41,032	40,650
	C			実績 見込								
目的	②意図(どのような状態にするのか)		成果指標		単位	区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	A-1) 新分野に進出する。 A-2) 新商品・新ビジネスを開発する。 B) 起業する。	A	新分野に進出した市内事業所数	事業所	実績 目標	件	実績	3	1	1		
目標									(2)	2	2	2
B		新商品・新ビジネスを開発した市内事業所数	事業所	実績 目標	事業所	実績	9	15	8			
							目標		(6)	7	7	7
	C	新設事業所数	事業所	実績 目標	事業所	実績	119(H18以降)	-	-			
	D			実績 目標		目標		(148)	150	150	150	150
成果指標設定の考え方 (成果指標設定の理由)			A・B) 新分野に進出したかどうか、新商品・新ビジネスを開発したかどうかは、その事業所数で把握できる。 C) 起業すれば新設事業所数が増えるはずだと考えた。									
成果指標の測定企画 (実績値の把握方法)			A・B) 商工会、産業振興センター・産業振興部 C) 経済センサスで把握									
目標設定とその根拠 (基本計画策定時)			A) 成り行き値は、公共事業削減に伴い、建設業等の異業種参入が今後も同水準で見込まれると考え、設定した。目標値は、産業振興センターを核に、産業創出の環境づくりをより進めていくことにより、成り行き値よりも高くすべきと考え、設定した。B) 成り行き値は、農商工連携協議会によるプロジェクト等により、今後も同水準で開発が進むと考え、設定した。目標値は、産業振興センターを核に、ビジネスマッチングや、新たな助成制度を設けることにより、成り行き値よりも高くすべきと考え、設定した。C) 成り行き値は、厳しい経済情勢と人口の減少を反映して、徐々に減少していくと考え、設定した。目標値は、厳しい情勢ではあるが、起業家育成のための研修、セミナーの実施や、県・国と連携した取り組みを図ることにより、現状(見込)と同水準を目指すべきと考え、設定した。									

2. 基本事業の目的と指標

基本事業名	対象	意図	成果指標	単位	区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
① 新分野進出への支援と連携	市内事業所	新分野に進出できるようにする。異業種間で連携する。	新分野に進出した市内事業所数、連携により生まれた新商品・新ビジネス件数	件 事業所	実績	3・9	1・15	1・8			
② 起業への支援	市民	起業できるようにする。	講習会開催件数	件	実績	1	1	1			
③					実績						
④					実績						
⑤					実績						

3. 施策の役割分担と状況変化

役割分担	住民(事業所、地域、団体)の役割	行政(市、県、国)の役割
①	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域資源を活かし、新産業に取り組む。 ● 農・商・工・で連携し、新商品の開発に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 建設業等の異業種参入を促進する。 ● 新商品の開発、販路開拓及びマッチングを支援する。 ● 農商工連携を推進する。 ● 起業家育成のためのセミナー等の情報を提供する。
②	<p>A) 施策を取り巻く状況(対象や根拠法令、社会情勢等)は、今後どのように変化するか?(本年度を見越して)</p> <p>○世界同時不況や東日本大震災の影響もあり、経済の低迷が続いてきたが、製造品出荷額では上向き傾向に転じてきている。○公共事業の縮小等により建設業等の異業種参入の動きがみられる。○高付加価値、オリジナルな製品(PB商品等)へのニーズが高まっている。○原発事故の影響もあり、エネルギー政策の転換が迫られている。</p>	<p>B) この施策に対して、住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか?</p> <p>○景気が低迷する中で、空き工場や空き事務所を有効的に活用したり、農商工連携による新たな産業の創出に対する期待はかなり大きい。 ○公共事業が縮小する中、建設業者から新産業への進出支援を求められている。</p>

4. 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察

他団体との比較(近隣市町、県・国の平均と比べた成果水準)	
<input type="checkbox"/> 近隣他市と比べてかなり高い水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> 近隣他市と比べてどちらかと言えば高い水準である。 <input type="checkbox"/> 近隣他市と比べてほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> 近隣他市と比べてどちらかと言えば低い水準である。 <input type="checkbox"/> 近隣他市と比べてかなり低い水準である。	<p>背景・要因</p> <p>○他市等と客観的に比較できる指標等はないが、農・商・工連携により、5つのプロジェクトが発足し、新商品の開発、販路開拓等が進んでいる。これにより、事業収益の増や雲南ブランドのPRに効果が表れている。</p>

平成24年度施策マネジメントシート2(平成23年度実績の評価)

《31 新産業の創出》

4. 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察

時系列での比較(成果水準の推移)	
<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した <input type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果はほとんど変わらない(横ばい状態) <input type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば低下した <input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した	背景・要因 ○H21年度以降新分野進出への補助制度を設け支援を行ってきたが、市内事業所の新分野進出件数は、横ばいの1件であった。 ○H22年度に新たに3つのプロジェクトを立ち上げ、5つのプロジェクトで商品開発等に取り組み、H23年度は8事業所において新商品が開発された。

5. 施策の振り返り評価

施策の目標達成度(前年度の成果指標値に対する実績値の達成度)	
<input type="checkbox"/> 目標値より高い実績だった <input checked="" type="checkbox"/> 目標値どおりの実績値だった <input type="checkbox"/> 目標値より低い実績値だった	背景・要因 ○引き続き新分野進出への補助制度を設け支援を行ってきたが、新たな進出は1件にとどまった。 ○5つのプロジェクトで商品開発に取り組んだことにより、H23年度は8事業所において新商品が開発された。

基本事業	取り組んだ事務事業の総括(事務事業貢献度評価:貢献した事務事業、課題が残った事務事業)
① 新分野進出への支援と連携	・農商工連携協議会では、5つのプロジェクトで新商品の開発や販路開拓に取り組み8事業所において新商品等が開発された。・たまごプロジェクトでは、市内飲食店20店で「うんなんオムライス」を提供、PRすることより売り上げ増加にもつながった。・企業間交流会や産業振興セミナーを開催し、マッチング等による新分野進出に役立った。・森林バイオマスエネルギー供給事業の推進によりエネルギー供給事業体の発足など新産業の創出に向けた方向性を導き出すことができた。
② 起業への支援	・新産業創出補助金や見本市等出店支援補助金により、起業を支援した。 ・県の起業化スクールへの参加を啓発した。
③	
④	
⑤	

6. 今後の課題と次年度の方針(案)

区分	今後の課題	次年度の方針(案)	
施策	○地域資源を活かし、新分野、新商品の開発、販路拡大につなげていく必要がある。 ○起業できる人材を育成していく必要がある。	○地域資源を活かし、新分野、新商品の開発、販路拡大につなげていく。 ○起業できる人材を育成していく。	
基本事業	① 新分野進出への支援と連携	○農・商・工の連携を引き続き深めていく必要がある。 ○地域資源を活かした新商品の開発、新産業の創出を進めていく必要がある。 ○公共事業の縮小傾向に伴い、建設業等からの異業種参入を支援していく必要がある。	○新産業創出事業を実施し、建設業等からの異業種参入や新商品の開発、販路拡大を支援していく。 ○農商工連携協議会により、5つのプロジェクト(スパイス・スイーツ・さくら・たまご・山の幸)を推進していく。
	② 起業への支援	○起業できる人材を育成していく必要がある。	○新産業創出補助金や見本市等出店支援補助金により、起業を支援していく。 ○講座を開催するなどし、地域の人材を育成し、起業を支援していく。
	③		
	④		
	⑤		